

職員団体との交渉議事要旨

(開催日時)

令和2年3月19日(木) 14:01~15:01(60分)

(開催場所)

札幌開発建設部 分庁舎 F会議室

(出席者)

当局側(札幌開発建設部)

村越 慶次(札幌開発建設部次長)、遠藤 淳也(職員課長)

職員団体側(全北海道開発局労働組合札幌支部)

片山 勝範(副執行委員長)、横内 智子(書記長)、坂口 透(執行委員)、

金子 歩(執行委員)

(議題)

【2020年統一要求書及び2020年春闘札幌支部職場要求書関係】

当部における職員の健康安全管理について

当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について

当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、交渉議題として取り決めた事項について回答

(要旨)

【議題1. 当部における職員の健康安全管理について】

(職員団体)

メンタル系疾患が職場に復帰した場合、本人や復帰をサポートする職員も、業務処理に余裕が無いのが今の職場の実態であると考えているが、当局の認識はどうか。

(当局)

まずは、メンタル系疾患を発症させないことが第一であり、早期発見・早期対処が重要と考えている。また、メンタル系疾患の発症要因のひとつとして、過労が挙げられることから、超過勤務の縮減と健康管理についての取組や様々な復帰支援策を行っているところである。

(職員団体)

一般健診及び人間ドックの再検査の受診率が上がらないと考えているが、当局の認識はどうか。

(当局)

再検査を受けていない職員を早期に把握し、管理者から該当する職員に対して積極的に受診するよう促す取組を行っている。また、健康管理は、自身の問題として意識することが重要であることを職場ミーティング等で職員に啓発しているところである。

【議題2. 当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について】

(職員団体)

職員アンケートでは、いまだにハラスメントを受けたとの声がある。また、ハラスメントに関する相談をしづらい職場環境であるとの声があるが、当局の認識はどうか。

(当局)

ハラスメント防止への取組は非常に重要であると認識しており、管理者への指導を徹底してきたところである。ハラスメントが無い職場作り、ハラスメントが起きた場合は相談しやすい職場作りに努めていきたい。また、ハラスメントと疑われるような行為があれば、適切に対処していきたい。

【議題3. 当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について】

(職員団体)

依然として男性の育児休業が少ないと思うが、当局の認識はどうか。

(当局)

男性の育児休業実績が少ない要因は、「業務が繁忙であること」、「収入が少なくなること」など様々である。当局としては、男性職員が育児休業等を取得しやすい職場環境作りに引き続き取り組んでいきたい。

(職員団体)

育児休業等取得の相談が出来ない職場環境や雰囲気であるとの声がある。男性職員が出産と育児に協力することについて、管理者や上司の理解が必要ではないか。

(当局)

育児休業等の取得について相談しやすい環境整備に努めるよう、引き続き管理者を指導していきたい。

※文責は札幌開発建設部当局（今後修正があり得る）